

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3032290号

(45) 発行日 平成8年(1996)12月17日

(24) 登録日 平成8年(1996)10月2日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/02	3 1 0		G 0 6 F 3/02	3 1 0 K
3/033	3 3 0	7208-5E	3/033	3 3 0 A
	3 4 0	7208-5E		3 4 0 B

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願平8-6682

(22) 出願日 平成8年(1996)6月10日

(31) 優先権主張番号 8 5 2 0 5 7 0 7

(32) 優先日 1996年4月19日

(33) 優先権主張国 台湾 (TW)

(73) 実用新案権者 596085726

旭麗股▲ふん▼有限公司

台湾台北市敦化南路一段25號10樓

(72) 考案者 邱 權芝

台湾台北縣永和市永貞路10巷12號11樓

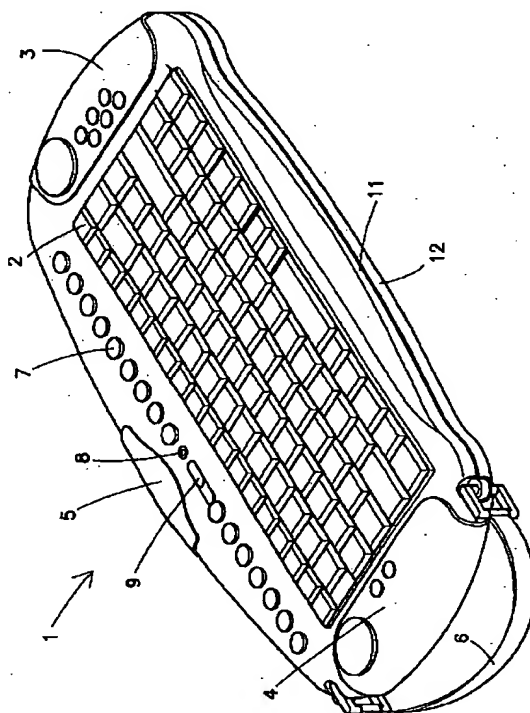
(74) 代理人 弁理士 竹本 松司 (外4名)

(54) 【考案の名称】 多機能キーボード

(57) 【要約】

【課題】 マウス、ジョイスティック、携帯用ハンドル、リモートコントローラーを一体に設けた多機能キーボードの提供。

【解決手段】 キーボードの左右両側にゲーム用ジョイスティック或いはマウスを設けてあり、キーボード上端にリモートコントローラーを設けてあり、キーボードの左端或いは、右端に、携帯用のハンドルを設けてあり、室内で携帯して使用できる。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 キーボード1と、キーボード1中央に位置する入力キー2と、キーボード1の一端に位置するゲーム用ジョイスティック3と、キーボード1のもう一端に位置するマウス4と、キーボード1の上端中央に位置するリモートコントローラー5と、キーボード1の一端に位置する携帯用ハンドル6と、キーボードフレーム11の上端のリモートコントローラー5の下方及び入力キー2の上方に設けられた特殊機能キー7と、キーボードフレーム11の上端にあってリモートコントローラー5の下方の入力キー2上方に設けられた特殊機能キー7の中央に設けられた発光ダイオード8と、キーボードフレーム11の上端にあってリモートコントローラー5下方の入力キー2上方に設けられた特殊機能キー7の中央の発光ダイオード8の横に設けられた電源スイッチ9とを備え、

キーボード1、ゲーム用ジョイスティック3及びマウス4の三種の入力装置を一体に設けてあり、操作を簡易化し、空間を節約し、実際に回路をコンピュータと連線する必要をなくし、コンピュータとディスプレイより離れた所で操作でき、使用者に電磁放射を受けさせず、携帯用ハンドル6は室内での携帯使用に利用されることを特徴とする、多機能キーボード。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例の斜視図である。

【図2】 本考案の実施例のジョイスティックの分解斜視図である。

2

\* 【図3】 本考案の実施例のマウスの分解斜視図である。

【図4】 本考案の実施例のリモートコントローラーの分解斜視図である。

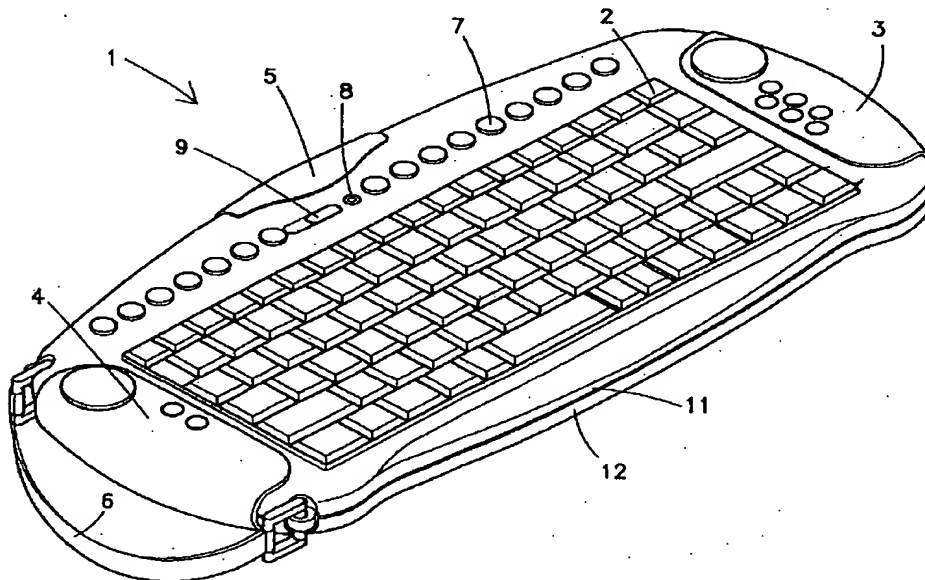
【図5】 本考案の実施例の携帯用ハンドルの分解斜視図である。

## 【符号の説明】

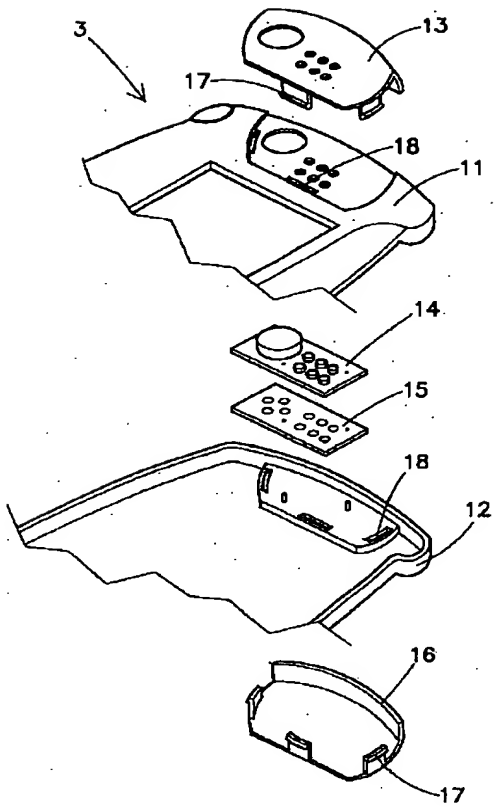
1・・・キーボード 2・・・キー 3・・・ゲーム用ジョイスティック  
4・・・マウス 5・・・リモートコントローラー 6・・・携帯用ハンドル  
7・・・特殊機能キー 8・・・発光ダイオード 9・・・電源スイッチ  
11・・・キーボードフレーム 12・・・キーボード底座  
13・・・ジョイスティック上板 14・・・ジョイスティックゴムパッド  
15・・・ジョイスティック回路板 16・・・ジョイスティック底板  
17・・・フック 18・・・フック座 23・・・マウス上板  
24・・・マウスゴムパッド 25・・・マウス回路板 26・・・マウス底板 60・・・リモートコントロール回路  
61・・・アンテナカバー 27・・・ハンドル 28・・・ハンドル止め具  
29・・・ヒンジロッド

\*

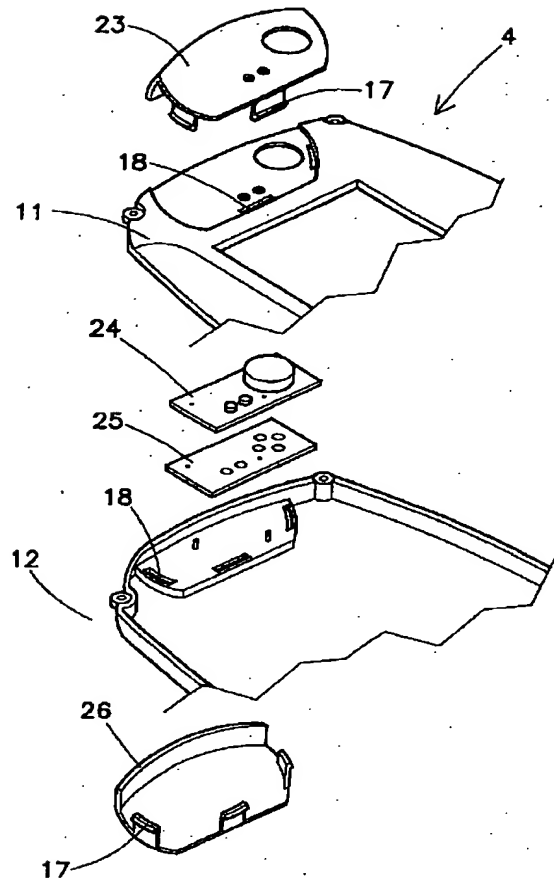
【図1】



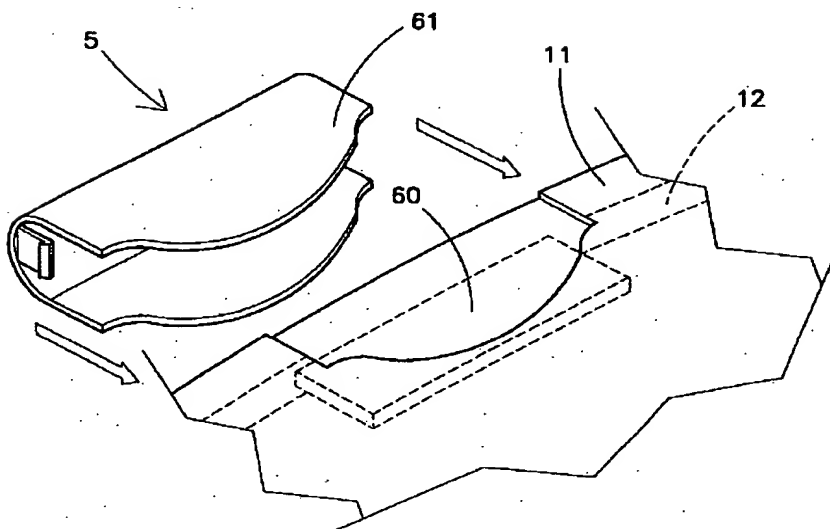
【図2】



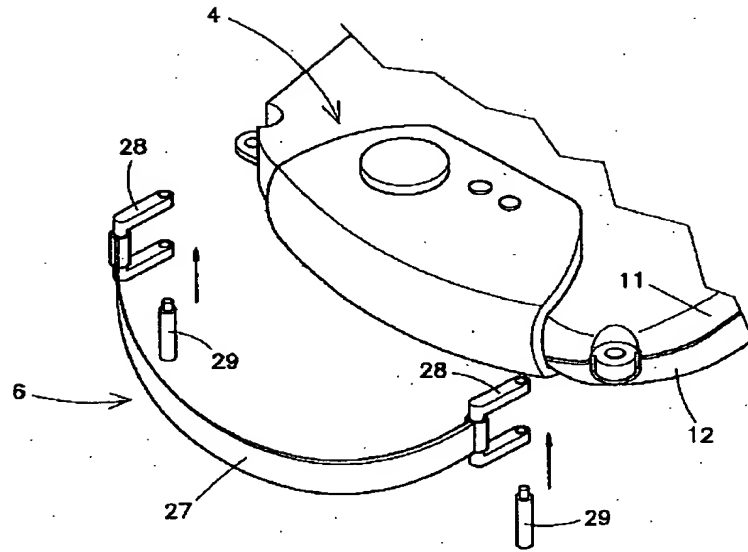
【図3】



【図4】



【図5】



**【考案の詳細な説明】****【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案はコンピュータの入力装置である一種の多機能キーボードに関し、キーボード、ゲーム用ジョイスティック、及びマウスの三種の入力装置を一体に設けてあり、キーボードの左右両側にゲーム用ジョイスティック或いはマウスを設けてあり、キーボード上端にリモートコントローラーを設けてあり、キーボードの左端或いは、右端に、携帯用のハンドルを設けてあり、室内で携帯して使用できるものに関する。

**【0002】****【従来の技術】**

インターネット、V A N、B B S及びウインドウス (W i n d o w s) ソフト、互動式コンピュータゲーム、コンピュータによる教育補助などデータサービスの急速な成長により、市販の各型のコンピュータにも、上述の各種サービスを使用するための、キーボード、マウス及びゲーム用ジョイスティック等各種の入力装置の配備が必要となってきた。また、パーソナルコンピュータを家庭内で使用する機会も増している。上述の各種の入力装置は以下のような共通の欠点を有していた。即ち、1. 個別に使用される方式に設計されており、作業内容により同時に二種類あるいはそれ以上の入力装置を使用しなければならない場合には操作に不便であった。2. 各入力装置が個別に設けられているため、机上の多くの空間を占有した。3. 入力装置の設計は固定使用の方式とされており、コンピュータとの通信は信号線で接続して行っており、信号線の長さは一般に1～2mとされ、回路は複雑であり、人が通るのに邪魔になったり或いは操作中に意外な事故が発生したりする場合があります、コンピュータや入力装置に損害をまねく恐れがあった。4. コンピュータの利用者はコンピュータやディスプレイに接近する必要があるため、比較的多くの電磁放射を受けることになった。

**【0003】****【考案が解決しようとする課題】**

本考案は、キーボードの左右両側にゲーム用ジョイスティック或いはマウスを

設け、キーボード上端にリモートコントローラーを設けることで、キーボード、ゲーム用ジョイスティック、マウスの三種類の入力装置を整然と一体に設け、操作を簡易化し、空間を節約し、リモートコントロール装置により実際に回路とコンピュータを接続する必要を無くし、使用者がコンピュータやディスプレイを離れた所で操作できるようにして電磁放射の影響をなくし、キーボードの左右両端の一つにゲーム用ジョイスティック或いはマウスを設けるほかに、携帯用のハンドルを設けてキーボードの室内での携帯使用を可能とすることを課題とする。

#### 【0004】

##### 【課題を解決するための手段】

請求項1の考案は、キーボード1と、キーボード1中央に位置する入力キー2と、キーボード1の一端に位置するゲーム用ジョイスティック3と、キーボード1の另一端に位置するマウス4と、キーボード1の上端中央に位置するリモートコントローラー5と、キーボード1の一端に位置する携帯用ハンドル6と、キーボードフレーム11の上端のリモートコントローラー5の下方及び入力キー2の上方に設けられた特殊機能キー7と、キーボードフレーム11の上端にあつてリモートコントローラー5の下方の入力キー2上方に設けられた特殊機能キー7の中央に設けられた発光ダイオード8と、キーボードフレーム11の上端にあつてリモートコントローラー5下方の入力キー2上方に設けられた特殊機能キー7の中央の発光ダイオード8の横に設けられた電源スイッチ9とを備え、

キーボード1、ゲーム用ジョイスティック3及びマウス4の三種の入力装置を一体に設けてあり、操作を簡易化し、空間を節約し、実際に回路をコンピュータと連線する必要をなくし、コンピュータとディスプレイより離れた所で操作でき、使用者に電磁放射を受けさせず、携帯用ハンドル6は室内での携帯使用に利用されることを特徴とする、多機能キーボードとしている。

#### 【0005】

##### 【考案の実施の形態】

図1に示されるように、本考案の多機能キーボードは、キーボード1、入力キー2、ゲーム用ジョイスティック3、マウス4、リモートコントローラー5、携帯用ハンドル6、特殊機能キー7、発光ダイオード8、電源スイッチ9、キーボ

ードフレーム11及びキーボード底座12を備えている。

【0006】

その中、入力キー2は従来のものと同じであり、電源スイッチ9はキーボード1の電源のオンとオフの切り換えに用いられ、特殊機能キー7はコンピュータ端末のマルチメディア装置の設定制御に用いられ、発光ダイオード8は電源状態を表示し、入力キー2、特殊機能キー7、発光ダイオード8及び電源スイッチ9は同じ回路板を使用している。

【0007】

図2に示されるように、本考案のゲーム用ジョイスティック3はキーボードフレーム11、キーボード底座12、ジョイスティック上板13、ジョイスティックゴムパッド14、ジョイスティック回路板15、ジョイスティック底板16より構成され、ジョイスティック上板13はキーボードフレーム11上に取り付けられ、ジョイスティック上板13とキーボードフレーム11の下に、順に、ジョイスティックゴムパッド14、ジョイスティック回路板15、キーボード底座12及びジョイスティック底板16が設けられ、ジョイスティック上板13は、その下に突出するフック17がキーボードフレーム11のフック座18に噛み合わされることを以てキーボードフレーム11上面に取り付けられ、ジョイスティック底板16はその上に突出するフック17がキーボード底座12のフック座18に噛み合わされることを以て、キーボード底座12下面に取り付けられる。

【0008】

図3に示されるように、本考案のマウス4はキーボードフレーム11、キーボード底座12、マウス上板23、マウスゴムパッド24、マウス回路板25及びマウス底板26より構成され、マウス上板23はキーボードフレーム11の上に取り付けられ、マウス上板23とキーボードフレーム11の下には順に、マウスゴムパッド24、マウス回路板25及びキーボード底座12、及びマウス底板26が設置され、マウス上板23はその下に突出するフック17がキーボードフレーム11のフック座18と噛み合わされることを以てキーボードフレーム11上面に取り付けられ、マウス底板26はその上に突出するフック17がキーボード底座12のフック座18と噛み合わされることを以てキーボード底座12の下面

に取り付けられる。

#### 【0009】

図4に示されるように、本考案のリモートコントローラー5は、キーボードフレーム11、キーボード底座12、リモートコントロール回路60及びアンテナカバー61より構成され、リモートコントロール回路60はキーボードフレーム11とキーボード底座12中に設置され、リモートコントロール回路60の前端及び外側はアンテナカバー61により保護されており、該リモートコントローラー5は、実際に回路とコンピュータを電線で接続して信号を伝送する必要を無くし、コンピュータとディスプレイから離れた位置での入力操作を可能として使用者が電磁放射を受けないようにするものである。

#### 【0010】

図5に示されるように、本考案の携帯用ハンドル6はキーボードフレーム11、キーボード底座12、ハンドル27、ハンドル止め具28及びヒンジロッド29より構成され、ハンドル27の両端はそれぞれハンドル止め具28に接続され、ハンドル止め具28はヒンジロッド29でキーボードフレーム11及びキーボード底座12に接続されている。

#### 【0011】

##### 【考案の効果】

本考案の多機能キーボードは、コンピュータへの入力に使用されるものであり、キーボードの左右両側にゲーム用ジョイスティック或いはマウスを設け、キーボード上端にリモートコントローラーを設けて、キーボード、ゲーム用ジョイスティック、マウスの三種類の入力装置を一体としたことで、操作を簡易化し、空間を節約し、またリモートコントロール装置の設置により実際に回路とコンピュータを接続する必要を無くし、使用者がコンピュータやディスプレイを離れた所で操作できるようにして電磁放射を受けないようにし、キーボードの左右両端の一つにゲーム用ジョイスティック或いはマウスを設けるほかに、携帯用のハンドルを設けたことでキーボードの室内での携帯使用を可能とした。